

平成25年度第2回江別市立病院経営健全化評価委員会(平成26年2月24日)の概要

平成25年度の診療収益の状況、医師数の状況、平成26年度予算案、経営健全化計画とその見直しについて事務局から説明を行いました。

平成25年度の診療収益は目標値からはそれほど乖離のない状況で推移し良好な状況であることから、残りの期間も気を緩めず、目標値を達成できるよう努力を継続していただきたいとの意見がありました。

医師数については、来年度に整形外科医が1名減の予定であることから、診療体制に少なからず影響は出るものの、全体としてそれをカバーしていく必要があるとの意見がありました。

平成26年度予算案では、消費税増税に伴う影響、診療報酬改定に係る影響があるほか、25年度から引き続き電子カルテの整備を継続していること、業務予定量としては入院外来患者数の増を見込んでいること等について事務局から説明を行いました。

単年度資金収支の黒字化を達成できるよう、職員一丸となって努力していただきたいとの意見がありました。

経営健全化計画の見直しについては、現行計画における行動プランの項目数を見直し、スリム化を図ることや、数値目標を見直すことについて、実態に合い数値化できる指標を用いるよう助言がありました。

そのほか、患者満足度調査について、院内の接遇向上が患者数増に繋がることから、調査結果をよく吟味し、積極的に改善に結びつけるようにとのご意見がありました。